

団体名**小野湖の水を守る会** (宇部市)

代表者名	橋本嘉美・矢富敏肆・村上知之	団体の目的 ・豊かな自然を見て、触れて、考えて、その保全の重要性を認識し、行動する人を育成する ・耕作放棄地でオリーブを栽培し、学校跡施設を活用して六次産業化を進め、里山の活性化を行う
構成員数	389人	
設立	H21年10月	
問い合わせ先	☎090-7375-5801 (津島)	

事業名 オリーブの森創生事業 (第3期植栽事業)

事業の目的

- ・水源地の管理維持
- ・オリーブの栽培事業を通じて、高校生等若者への体験型ESD環境教育を行う

*

*一人ひとりが持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育

事業の内容

- ・オリーブ苗の育成 (防虫や水やり等)
- ・オリーブの苗植え付けとオリーブ圃場の整備
- ・オリーブ栽培の研修や講習会への参加
- ・オリーブ栽培事業のPR

事業の成果

- ・耕作放棄地をオリーブの圃場として再開発・整備し、新しく約100本のオリーブを植え付けることができた
- ・栽培場所は宇部市北部の小野地区だが、冬期氷点下になるこの地域でもオリーブ栽培が可能であることが確認され、この事業への可能性を示すものとなった
- ・宇部西高等学校、宇部工業高等学校の学生も参加され、ESD環境教育のフィールドとして当オリーブ圃場が有効であることが確認できた
- ・収穫したオリーブを塩漬けにして試食したところ大変好評で、商品として販売できる感触を得ている。今後も商品開発を進めていきたい。

活動現場レポート! 「親睦もちつき大会と圃場見学」(H29.12.19/アクトビレッジおの)

この日は、地域住民が参加しての親睦もちつき大会が行われ、約40人が参加されました。

小さな子ども達には、会員が付き添って一緒におもちをつく姿も見られ、参加者は和気あいあいと楽しまれました。

餅つきが一段落した後、会員のご好意でオリーブの圃場を見学させていただきました。圃場は2箇所の一つは住宅街に、一つは山側の日当たりのよい斜面にあります。植栽して数年ということもあり、まだ若い木でしたが、しっかりと根を張って、中には実をつけている木も確認できました。

このオリーブが成長し、地域活性化の起爆剤となるような新しい商品に生まれ変わる日が楽しみです。



地域住民が参加しての餅つき大会



植栽されたオリーブの木

可愛い実も確認できました



試食用に提供されたオリーブの塩漬